

鳥羽市地域課題解決調査研究事業補助金 調査研究成果書

団体名：東大生地方創生コンソーシアム

代表者：山田ゆりか 調査日：10月18～19日

【研究内容】

事前調査を通じて、鳥羽市は少子化に伴う人口減少という課題を抱えており、子育て世帯の定住促進に向けた施策にも力を入れていることが分かった。そこで、本研究では鳥羽の主な地域資源である「牡蠣」や、豪華客船の停船などによる外国籍観光客が多く訪れるという特性に着目し、子育て世帯・特に「子連れファミリー層」を対象とした教育的体験プログラムを企画した。地域の名産や文化、特色を題材にした体験を通して、鳥羽ならではの魅力を発信し、子どもたちにとって「面白い体験ができるまち」としてのブランド形成をする一助となるのではと考える。

【成果】

地元のまちづくり会社が主催する地域イベントにて、事前調査を基に、構成員による「子供向けワークショップ事業」の提案を行った。発表後には来場者（小学生から一般市民まで）を対象にアンケートを実施し、ワークショップへの参加意欲や興味の高さ、地域の子どもを参加させたいかといった意識を調査した。有効回答20件のうち、半数以上から「ぜひ参加したい」「参加させてみたい」との肯定的な回答を得ることができた。以下に発表時の様子を示す。

